

世界へ松濤中生 (Achieve a role in the global community)

自立 (Grow) 尊重 (Respect) 創造 (Create)

学校だより

■HP Address

<http://academic1.plala.or.jp/shoto/>

■発行 松濤中学校
■代表 松濤1-20-4
■電話 03-3469-2451, 2452
■発行責任者
校長 斉藤 茂好

NO. 3

6/2

平成28年度

今月の内容

【1面】

■PHOTO SKETCH

■校長メッセージ

①
信じる

【2面】

■校長メッセージ
②

良い学校の作り方

信じる

この先の様々な学校行事や部活動で、発表や出場の機会が与えられている生徒のみなさんがとても羨ましいです。しかし、中にはそうした機会に恵まれない、チャンスと無縁の人もたくさんいるでしょう。私の中学生時代も、良い意味で目立つことや、ほめられることは無縁な存在でした。だからそうした人の気持ちが、少しだけ理解できていると思っています。しかし、焦ったり落ち込んだりする必要はありません。必ず、一人一人にベストの道は用意されています。今回、君達に伝えたいことは“信じる”ことの大切さです。“信じる”というのは、見えるものではなく見えないもの、まだ実現してもいないことを確信するということです。例えば、物やお金、そしてテストの点数や成績等々。そこにあり、目に見えるものは、信じる必要はありません。物やお金があれば、生活には困らないように思えます。また、成績が良ければ進路も万全のように思えます。しかし、本当に将来を約束してくれるのでしょうか。人生には何があるか分かりません。この世の中に、確実なものなど無いように思えます。一晩で財産を失うかもしれないし、健康を害して思うような成績が出せないときもあります。そんなとき、“信じる”ことが君達に無限の可能性を提供してくれます。日々の生活には信じなければやっていられないことがたくさんあります。役に立つか立たないのか、今の自分で判断できないことは“信じる”こと以外手立てがありません。そして、目先の利益や結果を考えず、ただひたすら、自分のできる範囲で努力をすることこそが大切です。

3年生の皆さんは自分の運命を信じ、結果に怯えず、ひたすら勉強してください。必ず君達の人生にベストの進路先が与えられます。1・2年生の皆さんも、たとえ今、目標や夢が見つからなくても、日々小さな努力を惜しまないで下さい。いつか必ず君達自身にとって、その努力が役立つ時がきます。私は去年、松濤中学校に来ることが決まった時から、根拠はありませんでしたが無条件に松濤中学校は素晴らしい学校になると信じていました。だから努力さえしていれば、正しく君たちのためになることであれば、望んだことはすべて実現すると信じています。松濤中学校の施設は古くて十分ではありませんが、保護者や地域の方々の協力もあり、君達が学ぶために必要なことは整えられています。そして、学校生活の各シーンで君達が見せてくれる素晴らしい取り組み、松濤中学校を愛する心、プライドこそが、ますます素晴らしい学校にしてくれると信じています。

君達一人一人が、自分の未来の可能性を信じ自分の存在価値を信じ、松濤中学校で出会った仲間との絆を信じて、支え合いながら色々なことにチャレンジしてください。

必ず、君たちの人生にとってベストの道が開けていくと確信しています。

「良い学校」の作り方

保護者が抱く学校に対する期待と要望は多種多様で、限りのないものです。今の豊かな社会の「良い学校」とは、学校が一方的に方針を決めて存在するものでもなければ、逆に保護者が自分の期待に照らし合わせて一方的に評価するものでもありません。もし多様な価値観の交錯する集団教育の場として学校のメリットを最大限に生かすなら、「良い学校」とは、教師、生徒、保護者が協力して創りあげていく教育を目指していかなければならないと思います。

保護者がお任せすればするほど学校は大変になり、大変になればなるほどお任せできなくなるという悪循環を断ち、保護者は自分の子供の専門家として、教師は集団教育の専門家として関わる学校、協働できる場としての学校が理想の姿です。だから、もし、自分の子供を良い学校に通わせたいならば、自分の子供のいま通っている学校を良い学校にするのが一番手っ取り早い方法です。

良い学校のつくり方は、次のようにします。折に触れ、その学校のことを、「良い学校だ」といろんな人に言う、近所に言う、地域で言う、大人にも、子供にも言う。学校の先生も、その学校の子供たちに言う。

「この学校の先生はすばらしい」

「この学校にはこんなに優れた先生がいる」

「この学校の生徒はすばらしい」

「この学校の保護者はみんな学校の教育に理解がある」



「この学校のこの施設はすごい」等々。全く事実無根でも困りますが、良いことを殊更に大きく吹聴する。そうすると、先生も子供たちも、そして保護者も、近所の人も、だんだんその気になっていく。そして、自然にその学校は良い学校になっていきます。

良い学校かそうでないかは、実質を言われているのではなく、印象に過ぎません。人の心の持ち方で変わっていく場合が多いものです。良い学校と言われる学校は、その良い点に注目されており、良くない学校と言われる学校は、その良くない点に注目されているからです。

学校に関係する人々が、思いを共有し、協働している学校は、「良い学校」にならないはずはありません…。

カウンセリングルーム利用に関わるお願い

年度当初(4/23発「スクールカウンセラーだより」)でもお知らせしましたとおり、本校は4月よりスクールカウンセラー2名配置となり、生徒、保護者の皆様の多様な相談業務に対応させていただいております。相談事例の増加に伴い、下記の内容を改めてお知らせ申し上げます。

菅 雅子SC 原則毎週火曜日勤務

相談時間 8:50～16:30

坂口和絵SC 原則毎週木曜日勤務

相談時間 9:00～15:15

【相談予約方法】(再掲)

- ・保護者、生徒ともカウンセラーに直接電話、もしくは口頭で予約する。
- ・担任の先生、養護の先生に依頼して予約する。

逐次、日時の調整をして対応させていただきます。

Sports Day(運動会)

練習始まりました!!

本日より、6/12(日)本番に向けて、今日から熱く始まりました。

